

○協議事項「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について」 正誤表

頁	修正前	修正後
29 中段	<p>【小中学校教育教材整備事業】</p> <p>教育教材の整備については、学校規模に応じて効率的に整備することができました。老朽化したグランドピアノは、芝川小1台、大谷中1台の入替を行いました。</p> <p>また、大型教材については購入計画に基づき、東小と大石南中の校内放送システムを購入しました。</p>	<p>【小中学校教育教材整備事業】</p> <p>教育教材の整備については、学校規模に応じて効率的に整備することができました。老朽化したグランドピアノは、芝川小1台、大谷中1台の入替を行いました。</p>
29 下段	<p>◇ 施策の評価</p> <p>学校施設更新計画策定事業では、…（中略）…</p> <p>小中学校図書整備事業では、学校図書の廃棄と更新のバランスに留意し、引き続き計画的な整備に努め、小中学校全校での図書標準達成率100パーセントを目指します。</p> <p>小中学校教育教材整備事業では、教育内容を充実させるために現状の予算を維持し、効率的な教材備品購入を継続できるよう努めていきます。また、大型教材に関しては、設置から20～30年経過し老朽化している上に、修繕も難しい状況であることから、長期的な計画により入れ替えを実施していきます。</p>	<p>◇ 施策の評価</p> <p>学校施設更新計画策定事業では、…（中略）…。</p> <p>小中学校図書整備事業では、図書資料の整備の面では、各校で導入されている学校図書館システムを活用しながら、学校図書の廃棄と更新のバランスに留意し、引き続き計画的な整備に努め、小中学校全校での図書標準達成率100パーセントを目指します。</p> <p>近年では、学校図書館は、読書活動の推進のために利活用されることに加えて、調べ学習や新聞を活用した学習など、各教科等の様々な授業で活用されることにより、学校における言語活動や探究活動の場となり、主体的・対話的で深い学びを効果的に進めていく役割が一層期待されています。図書資料の整備の面だけでなく、市図書館との連携など、他の事業と連携を図りながら、ソフトの面においても、各校に配置している図書館支援員を中心に、児童生徒の読書活動のより一層の充実を図ってまいります。</p> <p>小中学校教育教材整備事業では、より効果的に学校教育に資するよう、計画的かつ効率的な教材備品の購入に努めていきます。</p>

頁	修正前	修正後
31	<p>【小中学校コンピュータ整備事業】</p> <p>総務省の情報セキュリティ強化事業及び埼玉県構築の自治体情報セキュリティクラウドへの行政ネットワークの参加に伴い、小中学校専用のネットワークを構築し、運用を開始しました。また、次期学習指導要領に対応したインフラ整備に向けた調査や情報収集を行い、小・中学校において協働型・双方向型学習を実現するための学習者用端末導入や無線LAN環境整備をしました。</p>	<p>【小中学校コンピュータ整備事業】</p> <p><教育用パソコンの整備></p> <p>平成25年度に小学校各校のパソコン教室に導入したパソコン(各校40台)を、タブレット型のパソコンにリース方式によって入替を行うとともに、普通教室においてグループワーク等で使用することが可能となるように、22校で計752台のタブレット型パソコンを導入し、合計1,632台のタブレット型パソコンを整備しました。(中学校の教育用パソコンは、30年度において整備(各校PC教室40台のほか、計700台のタブレット型パソコン))</p> <p><校務用パソコンの整備></p> <p>平成25年度、26年度に導入した校務用のパソコンを入替え、970台を新たに整備するとともに、これに併せて、各校職員室のLAN回線の整備を実施しました。</p> <p><無線LAN環境の整備></p> <p>パソコンを活用する上で重要なインフラとなる無線LAN環境であるが、文部科学省が策定した教育のIT化に向けた環境整備計画等を踏まえて、前年度となる平成30年度は中学校における無線LAN環境を整備し、平成31年度は、小学校における無線LAN環境を整備しました。</p> <p>また、令和元年12月には、国が「GIGAスクール構想の実現」を表明したことを受け、一部の小中学校の無線LAN環境の改修工事も行い、これにより、全ての小中学校におきまして、GIGAスクール構想が目指す「気密性が高く、高速大容量」の標準的な学校ネットワークが整備できることとなりました。</p>

頁	修正前	修正後
31	<p>◇ 施策の評価</p> <p>指導方法改善事業においては、…（中略）…。</p> <p>小中学校コンピュータ整備事業においては、運用を開始した小中学校専用ネットワークの安全稼働、安定運用を確保するとともに、情報セキュリティの向上に努めます。また、小学校においては、新たに導入した学習者用端末や無線LAN環境を十分に利活用できるよう導入前研修や導入後のフォローアップ研修を行いました。</p> <p>次年度については、文部科学省の提唱するGIGAスクール構想の実現を目指し、環境を整備できるよう調査や情報収集を行います。</p>	<p>◇ 施策の評価</p> <p>指導方法改善事業においては、…（中略）…。</p> <p>小中学校コンピュータ整備事業においては、33校においてタブレット型パソコンと無線LAN環境を整備したところです。</p> <p>この評価年度の中、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が始まったことを受け、3月2日には市内全校休校という措置を取らざるを得ない状況となり、改めて教育のICT化の重要性を再認識させられました。</p> <p>国が加速化させた「GIGAスクール構想・一人一台端末の実現」を踏まえ、令和2年度中に、本市においても一人一台端末が実現する運びとなります。重要なのは、端末を導入することではなく、端末を有効に活用し、子どもたちの成長や学力向上につなげることでありますので、令和2年度は、端末の準備に並行して、導入する端末を十分に活用した教育活動を行うことができるよう、教育委員会、各学校が一体となって、準備を進めてまいります。</p>